



平成 21 年 5 月 1 日

各 位

会 社 名 株式会社宮入バルブ製作所
代表者名 代表取締役社長 高井 洋
(コード番号 6495 東証第 2 部)
問合せ先 取締役総務部長 佐野邦男
(TEL 03-3535-5575)

当社株式の時価総額が 6 億円以上になったことに関するお知らせ

当社株式は、平成 21 年 4 月の月間平均時価総額および月末時価総額が 6 億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないこととなりましたのでお知らせいたします。

記

1. 当社株式の時価総額について

当社株式は、平成 21 年 2 月末の月末時価総額が 6 億円未満（注）となり、東京証券取引所所有価証券上場規程第 601 条第 1 項第 4 号 a に基づき上場廃止基準に該当することとなりましたが、株価が上昇したことにより平成 21 年 4 月の月間時価総額および月末時価総額が 6 億円以上となり、東京証券取引所の上場廃止基準に該当しないこととなりました。

（注）上場株券に係る時価総額基準につきましては、平成 21 年 1 月末より同年 12 月末まで基準を一部変更して適用される旨、東京証券取引所より公表されております。

（ご参考）

（1）平成 21 年 4 月の月間平均当社株式時価総額	867,667,893 円
（2）平成 21 年 4 月末（4 月 30 日）の当社株式時価総額	781,598,960 円
（4 月末終値 16 円 × 4 月末上場株式数 48,849,935 株）	

2. 今後の見通しについて

今後当社は、既存事業であります L P G 用バルブ類の収益性向上施策として、海外からの部品調達を拡大することによる原材料費の低減施策および新生産管理システムの導入による生産効率の向上施策等の諸施策を推進し、収益性の向上を目指すと共に、新規事業といたしまして従来から取り組んでおります L N G を中心としたクリーンエネルギー分野の新製品および高付加価値製品の早期開発も同時に行い、事業規模の拡大を図ってまいります。

当社は、上述の既存事業の収益性向上施策および新規事業での業績拡大施策を強力に推進することにより、さらなる経営効率の向上と収益力の安定化を図り、今後とも東京証券取引所での上場を維持するよう努めてまいります。

株主、投資家の皆様ならびに関係者の皆様には今後とも格別のご支援ご高配を賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

以上